

令和2年度地元産業界等と連携した実践的PBLを含む授業科目等の開講

札幌国際大学

①連携している地元産業界等の組織名称	北海道瀬棚郡今金町
②授業等を実施する学部・学科	スポーツ人間学部スポーツビジネス学科
③授業等を開講する目的	<p>本学では、今年度より中期目標の達成に向けて中期計画に即した取組を行っている。中でも、カリキュラムの改定及びリーダー育成は、スポーツビジネス学科にとって重要な課題であることから、令和4(2022)年度スタートの新カリキュラムに向けて学科内に委員会を設け、改定作業に着手しているところである。従前からの学科カリキュラムの特徴である理論と実践の往還サイクルをより発展させ、実際の地域フィールドにおいてリーダーとしてのスキルの伸長を図るアクティブラーニングによる実践的な科目の新設を検討している。</p> <p>一方、本学と地域連携協定を平成24(2012)年度に締結した今金町は、農業が盛んで日本一の「今金男爵」など多くの農産物をはじめ、美しい自然環境、歴史的史跡も数多く残されており、地域資源に恵まれた自治体である。しかし、少子高齢化や人口減少をはじめ、地域資源の有効活用など、地域課題が山積している状況にある。</p> <p>そこで、地域連携協定のもと、本学と多彩な連携事業を展開してきた実績のある今金町をフィールドとして、地域課題の解決のために、情報収集、課題設定、企画立案、実施、評価の一連の過程を通して、地域資源の活用や魅力を発信する方策を学生が提案する。さらには、地域課題の解決に焦点を当て、リーダー育成モデルプログラムを検討し、新カリキュラム作成の資料等を得ることを目的とする。</p>
④授業等の具体的な内容	<p>今金町の山積する地域課題の中でも、学科の学びを活かした実践的PBLとするために、健康・運動をキーワードとする。</p> <p>学生が主体となって町民対象の健康運動プログラムを企画・実施するため、およそ以下の手順で取り組みを進める。</p> <p>①町民の健康・運動に関する意識やニーズを把握するため、現地調査及び情報収集を行う予定だったが、コロナ禍で現地調査を断念し、今金町まちづくり推進課の職員3名が来学する出前型の研修において説明を受けることにより情報収集を行った。</p> <p>②対象別に健康運動プログラムを企画するとともに、展開方法について検討を行う予定だったが、コロナ禍のため変更を余儀なくされ、過疎集落に住む独居高齢者へ向けた健康増進のためのプログラムの開発として、「高齢者(過疎集落・独居)のための健康増進プロモーション映像(DVD)」の企画・作成を行った。</p> <p>③限られた時間の中で有意義な議論を重ねられるように、「転倒予防」「ひざ痛予防」「腰痛予防」「認知症予防」と4つのテーマをもとに4グループ(4名)に学生を分け、1グループずつソーシャルディスタンスを図ったり、オンライン会議も取り入れ、グループワークを進めた。</p> <p>④完成したDVDは、今金町における高齢者への健康増進の取り組みに活用して頂くため、今金町へ寄贈を行った。</p> <p>⑤分析等を踏まえ、評価と改善を行う。</p>

札幌国際大学短期大学部

①連携している地元産業界等の組織名称	札幌市清田区
②授業等を実施する学部・学科	幼児教育保育学科、総合生活キャリア学科
③授業等を開講する目的	<p>学生が地域資源や魅力を再発見し、それを活用した地域活性化を図ることを目的とする。</p>
④授業等の具体的な内容	<p>幼児教育保育学科「保育プロジェクト演習」並びに総合生活キャリア学科「課題解決演習Ⅰ」及び「課題解決演習Ⅱ」において、学生で協力し、アフターコロナの新しい生活様式下においても実施可能な今年度の具体的な事業を企画、実施する。</p> <p>①学科公式SNSで、『きよたSTAY HOMEプロジェクト』応援を実施</p> <p>②食育チームで、清田区の Mascot「きよっち」と本学の Mascot「コクサイ君」が清田の野菜を使って、家庭での食育をPRする(いただきます、ごちそうさま、材料名を知るなどでも十分な食育活動になるのだということをPRする)動画とレシピを作成し、学科公式SNS及びYouTubeに掲載した。</p> <p>これらの活動を通じて地域資源や魅力の再発見を行い、それを活用した地域活性化を考える。</p>